

令和6年産

気仙沼・南三陸 稲作情報 第4号

令和6年6月21日発行

宮城県米づくり推進気仙沼地方本部・宮城県気仙沼農業改良普及センター

TEL 0226-25-8069 FAX 0226-22-1606

今後の栽培管理のポイント

- ▶ 必要な茎数を確保したら、中干しに入りましょう。
- ▶ いもち病を見つけたら、すぐに防除しましょう。

1 気象の概況

5月下旬後半から6月初めにかけて、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。その後は、平均気温及び日照時間が平年を上回りました。

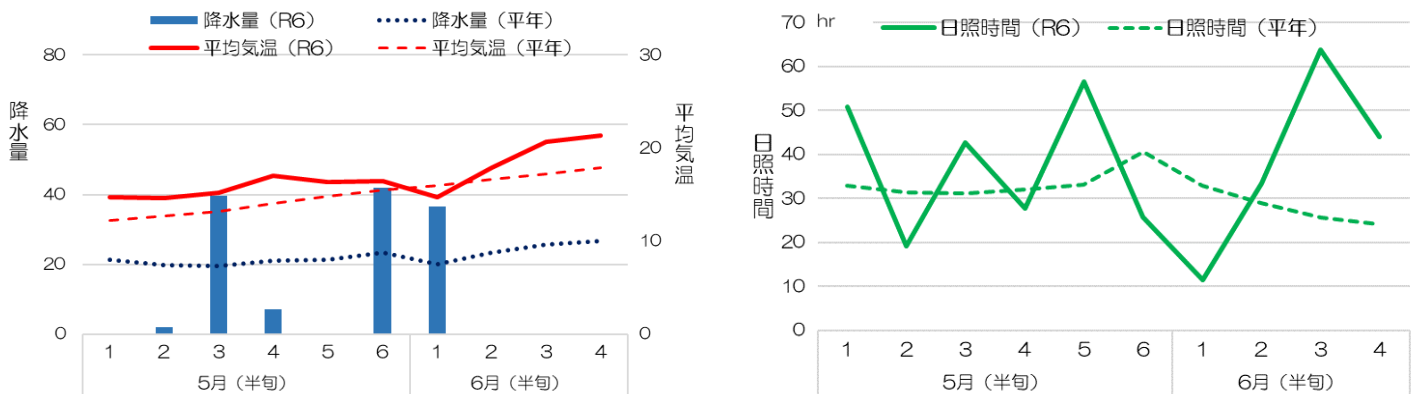


図1 気象経過図（気仙沼アメダス：5月1日～6月20日）

2 水稻生育調査ほの生育概況

- 茎数は 470 本/㎡、葉色は 40.7 と、生育の目安（目標）を概ね確保しており、生育は順調です。また、中干しの時期に達しています。

表1 水稻生育調査結果（6月20日現在）

品 種 地区名	年	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色値 (GM)
ひとめぼれ 気仙沼市本吉町	R6	5/20	32.6	470.6	40.7
【参考】 ひとめぼれ 気仙沼市本吉町	R5	5/14	37.0	508.7	43.7



生育の状況

※生育調査ほの見直しにより、今年度から管内の調査ほは1か所となり、また、ほ場（担当農家）を変更しています。このため、前年比・差及び平年比・差はありません。

3 今後の栽培管理

(1) 水管理

- 管内の多くのほ場では、中干しの時期に達したと思われます。
- 中干しは、根の活力の向上、無効分げつの発生抑制、作土層の硬化促進、異常還元による赤枯症状の抑制などの効果があります。表2の目標茎数を確保したら、早めを実施しましょう。
- 中干しは、田面に小さな亀裂が入り、軽く足跡がつく程度とします。
- 分げつの少ないほ場では、低温時には水深5～6cmの深水、それ以外は水深2～3cmの浅水として、水温、地温の上昇を図り、分げつを確保してください。

表2 品種別目標茎数の目安

品 種	茎数 (本/㎡)
ひとめぼれ	410～460
ササニシキ	480～510
だて正夢	350～400

(2) 病害虫防除

①いもち病

- 箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、水面施用剤（粒剤、パック剤）を速やかに散布しましょう。
- 箱施用剤等による予防防除を実施した場合でも、発病が見られたときは、速やかに茎葉散布剤で防除してください。
- 葉いもちは、直接収量や品質に影響を及ぼす穂いもちの伝染源となります。予防防除が基本であり、病徴が進展してからの防除では十分な効果が期待できないため、水田をこまめに見回り、早期発見と防除に努めましょう。

※葉いもち感染好適条件の出現状況（BLASTAM（ブラスタム））は、

県病害虫防除所ホームページで確認できます。

(URL:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>)



宮城県病害虫
防除所
BLASTAM

②斑点米カメムシ類

- 生息地である水田周辺のイネ科雑草は、水稻の出穂前15～10日（7月中旬）までに草刈りを終わらせ、雑草が穂をつけないようにしましょう。
- 水田内のヒエやホタルイ類はカメムシ類を呼び寄せるので、除草を徹底しましょう。



県内での最重要種
「アカスジカスミカメ」

4 「金のいぶき」の栽培管理

(1) 調査ほでの生育状況

茎数は275本/㎡と前年及び平年の約6割程度となっていますが、前回調査から生育が回復してきています。

表3 水稻生育調査結果（6月20日現在）

品 種 地区名	年	田植日	栽植密度 (株/㎡)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色値 (GM)
金のいぶき 気仙沼市本吉町	R6	6/1	19.1	26.9	275	38.2
	前年比・差	+12	97%	82%	60%	91%
	平年比・差	+18	98%	80%	56%	93%

※令和3年から設置のため、平年値は令和3～5年度の3か年平均の値。

(2) 今後の栽培管理

- 目標茎数440～490本/㎡を確保したほ場では、速やかに中干しを行いましょ。ただし、「金のいぶき」は根張りがあまり良くないので、強すぎる中干しは避け、土に亀裂が入る前に間断灌水に移行しましょう。
- 「金のいぶき」は、いもち病に弱い品種です。箱施用剤に加え水面施用剤（粒剤、パック剤）による防除を2回（6月中下旬と7月中下旬）実施しましょう。

5 乾田直播栽培

(1) 調査ほでの生育状況

草丈、茎数、葉色とも前年を上回っていますが、前年は、ほ場の水持ちが悪く生育が停滞したためです。

表4 水稻生育調査結果（6月20日現在）

品 種 地区名	年	播種日	苗立率 (%)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (GM)
ひとめぼれ 気仙沼市本吉町	R6 前年比・差	3/25 +10	57.2% +20.8	31.0 105%	209.4 237%	31.5 108%

※調査ほ場は、前年から場所を変更しています。

※播種方式は、条播（グレーンドリル）

(2) 今後の栽培管理

- ・分けつを促進するため、浅水管理としましょう。
- ・病虫害の防除については、前述「3 今後の栽培管理」参照。

6 東北地方の1か月予報（令和6年6月20日 仙台管区气象台発表）

【予報のポイント】

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

農薬危害防止運動実施中！

宮城県では、6月1日から8月31日を農薬危害防止運動実施期間と定め、農薬の安全・適使用を推進しています。農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農作物を届けるため、農薬は適正に使用しましょう。

- ① 適切な防護装備の着用を徹底しましょう。
- ② 土壌くん蒸剤を使用した後の適切な管理をしましょう。
- ③ 住宅地等で農薬を使用する際には、周辺への配慮及び飛散防止対策をしましょう。
- ④ 農薬の保管管理を徹底しましょう。
- ⑤ 農薬容器のラベルをよく読みましょう。農薬を使用する前には、必ず使用可能な作物名・対象病虫害や雑草、収穫前日数等の登録情報をラベルやウェブサイト等で確認し、使用時期、使用方法、使用量を守って使用しましょう。



農薬危害防止
リーフレット

次回の稲作情報の発行は、令和6年7月2日を予定しています。